

た生徒確保に極めて困難を来
たしている状況にあり、近年
の入学志願者は、定員を大き
く下回る状況となりました。
このため、地域や保護者から
期待され、生徒からも信頼さ
れる学校づくりを進めるとも
に、生徒の実態や特性を的
確に把握し、中学校と高等学
校との連携をはじめとし、関
係機関、地域と一体となった
課題解決に努めてまいります。

また、特色ある学校づくり
の一環として、引き続き生徒
が簿記等の検定受験をする際
の受検料を補助するとともに
通学費を助成してまいります。
教育指導としましては、従
前同様習熟度別編成学級によ
る学習やコンピュータによる
情報教育、英語指導助手によ
る語学学習、進路に応じた類
型学習、訪問介護士資格取得
認定校として総合的な学習の
一環で資格取得学習の充実に
関り、さらに近年、社会環境
の変化に伴い、生徒の学力や
興味・関心・適応が時代と共
に変化しておりますので、生
徒により良い教育を实践すべ
く、平成20年度より、大学等
の進学に対応するため、教科
選択の幅を広げるとともに、
就職の対応に、商業教科を中

心としたコースとする中で、
新たに商業科目を加えた教育
課程に変更し、地域や時代の
要請に対応できる学校づくりに
努めてまいります。

国際理解教育として進めて
おります国際交流派遣事業に
つきましては、平成11年度か
ら、これまでに6回実施し、
14名の生徒を派遣してきてお
り、意欲ある生徒が海外での
交流体験を通して語学力の向
上はもとより、国際感覚を養
い、精神的にも成長し、周り
の生徒にも良い影響を与えて
いることから、平成20年度も
継続して予算措置をしてまい
ります。また、本校の特色で
もありません、カヌー部は全
国高等学校選手権大会や国体
に出場し、カヌー部は日本
ジュニア選手権大会や全高
等学校選手権大会、さらに、
スキー部は3年連続全国高等
学校スキー選手権大会に出場
を果たすなど、好成績を修め
ておりますので、各部の活動
についても引き続き支援をし
ていくほか、カヌー競技に使
用される競技艇の構造が変わ
りましたので、新たに購入す
る予算を計上いたしました。
また、高等学校の授業料に
ついては、道立高等学校の授



良野町ジュニアカーリング選手権大会

業料改定前の額を設定してい
ることから、このたび、道に
おいて改定することになりま
したので、平成20年度入学者
から学年進行で対応いたした
く条例改正をお願いするもの
であります。

社会教育の推進

次に、社会教育の推進であ
りますが、私たちを取り巻く
環境と社会情勢は、国際化、
情報技術の進歩と多様化、科
学技術の進展、少子高齢化な
ど大きく変化する社会の中に
あって、ライフスタイルの変
化や男女共同参画社会、さら
には生活価値観の多様化が進
み、町民一人ひとりが生涯に
わたって健康で充実した生活
を送れるよう求めています。

家庭教育

このことから、平成20年度
を始まりとします第5次社会
教育中期計画を基本としまし
て、この豊かな自然や歴史・
文化などの条件を生かして、
学校、家庭、地域がそれぞれ
の役割を果たしながら相互に
連携し、子どもから大人まで、
時間的、空間的、精神的ゆと
りの中で、いつでも、どこで
も、だれもが自由に学ぶこと
ができる環境づくりに配慮し
てまいります。

青少年の健全育成

青少年の健全育成でありま
すが、依然として非行や犯罪
など青少年をめぐる問題が深
刻になっており、このような
社会的問題は、核家族化や少
子化、家庭における教育力の
低下等の中で、親や大人の言
動や姿勢、社会のあり方が大
きく反映していると言われて
おりますので、「青少年は地
域から育む」と言う視点に
立つて、学校、家庭、地域が
相互に連携した、自然や人々
とのふれあいなど活動機会の
提供に努めてまいります。

本部町との交流

また、友好の町、沖縄県本
部町との親善交流事業につ

きましては、17回目を数えて
おり、今までに本町からは4
03名、本部町からは253
名の数多くの子ども達による
交流が行われております。

北と南の子ども達の友情の輪
の拡大と風土、歴史、文化の
違いを自ら体験し学ぶことは
極めて貴重であり、また、こ
の事業を通して、両町の関係
職員交流やホームステイによ
る家庭間相互交流も始まって
いるなど、年々充実してきて
おりますので、今後もさらに
両町の絆が深まるものと考え
まして引き続き実施いたしま
す。

成人教育

成人教育についてでありま
すが、この世代は、家庭、職
場、地域社会において中心的
な役割を担っている世代であ
り、少子化の中、働く女性が
増え、女性の社会参加も拡大
されてきておりますので、幅
広い学習活動の提供に努める
ほか、各種団体の育成と自主
的な活動に引き続き支援して
まいります。

千里大学

千里大学につきましては、
本科、研修科、大学院、専修

科それぞれの課程の中で、自
己を豊かにし、生きがいや楽
しさを求めて、意欲的に学習
活動を展開しております。ま
た、この活動を通じて、自ら
企画運営する大学祭を開催し
て、数多くの芸能発表や書道
手芸、陶芸等の作品展示を行
うなど、学生の自治会活動も
年々拡充してきていますので、
引き続き学習内容の充実に配
意してまいりますとともに、
高齢者の持つ豊かな生活体験
や人生経験を活かす機会の場
の提供にも努めてまいります。

英会話教室

町民の国際理解と語学力の
向上のために開設しておりま
す英会話教室につきましても
引き続き進めます。

芸術文化の振興

次に、芸術文化の振興につ
いてであります。芸術文化
は、人々に楽しさや感動、精
神的な安らぎや生きる喜びを
もたらし、人生を豊かにする
ものであり、生活水準の向上
や余暇時間の増大に伴い、趣
味の学習や文化活動に対する
関心が高まってきていること
から、文化協会を中心とし
た団体・サークルの支援を

行ってまいります。

公民館・図書室

保健福祉センターの図書室
については、多くの方々に利
用していただくため、蔵書の
整備、新刊図書の紹介など利
用促進に努め、引き続き富良
野沿線5市町村の広域連携の
取り組みにより、圏域市町村
住民にも蔵書の貸し出を行っ
てまいります。また、公民館
分館事業につきましては、そ
れぞれ地域の特性を活かした
活動を進めておりますが、学
校週5日制にも対応した取り
組みに配慮してまいります。

住民自主企画事業

平成18年度から実施してお
ります「住民自主企画事業」
につきましては、住民が必要
とする多様な学習形態に対応
した事業であり、いままだ
「ヨロガ教室」や「パソコン
教室」の複数開催や「現代美
術ワークショップ」事業、「家
庭教育支援や環境教育に関す
る講演会」などの事業が取り
組まれ、地域社会・生活の課
題解決や健康増進、コミュニ
ティ活動の推進などに成果が
ありますので、平成20年度に
おいても生涯教育の一環とし

て、引き続き住民の自主的活
動を支援してまいります。

郷土資料

歴史を伝える史跡等文化財
資料については、かねてより
調査収集していたものがまと
まりましたので、本町の歴史
や時代による変容を後世に伝
える記録として、また、子ど
もから大人まで町の歴史をや
さしく知るための資料として、
史跡マップを製作してまいり
ます。

体育スポーツの振興

歴史を伝える郷土資料は、
高齢者研修センター2階に展
示し、一般に開放してありま
すが、利用について周知を
図ってまいります。

次に、体育、スポーツの振
興についてであります。町
民だれもが心身ともに健康で
明るく充実した生活を維持し
ていくために、各自の体力や
能力にあったスポーツを楽し
み、心の交流も深められるよ
うなスポーツを、個々の生活
の中に積極的に取り入れて行
くことが大切であると考えま
すので、体育指導員協議会や
体育協会関係団体などの連携
と協力をいただきながら、引

き続き各種スポーツ教室やス
ポーツ大会を進めるとともに、
町民の健康増進や体力づくり
のための学校開放にも配慮し、
各種スポーツの振興に努めて
まいります。

本町の冬のスポーツ、カー
リングにつきましては、本町
で開催のジュニアカーリング
選手権大会も定着し、カーリ
ング少年団や南富良野高等学
校カーリング部など、空知川
スポーツリンクスでは多くの
愛好者が活動を展開してきて
おり、平成19年度は高校カー
リング部が全国選手権大会に
2回出場、南富良野カーリン
グ協会チームが日本選手権大
会と日本ミックスダブルス選
手権大会に出場して好成績を
修めておりますので、引き続
き環境整備に努めてまいりま
す。

以上、平成20年度の教育行
政の執行に対する方針を申し
上げましたが、教育委員会と
しましては、課せられた使命
や責任を深く認識して、町民
皆様の負託に応えるため、町
をはじめ教育関係者と相携え
て最善の努力をしてまいりま
すので、議員各位、並びに町
民皆様のご理解とご協力を心
からお願ひ申し上げます。